

KAYA Vision Point I から Vision Point II への移行手順

- C# 編 -

問合せ先

株式会社アルゴ

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 1 丁目 2-4

Mail : argo@argocorp.com

TEL : 06-6151-9283

本マニュアルは、KAYA Instruments 製の旧ソフトウェア開発キット（SDK）である「Vision Point I」を使用して構築された既存の C#アプリケーションを、最新の「Vision Point II（VPII）」環境へ移行するための手順を解説しています。

1. 事前準備

作業を開始する前に、以下の準備が完了していることを確認してください。

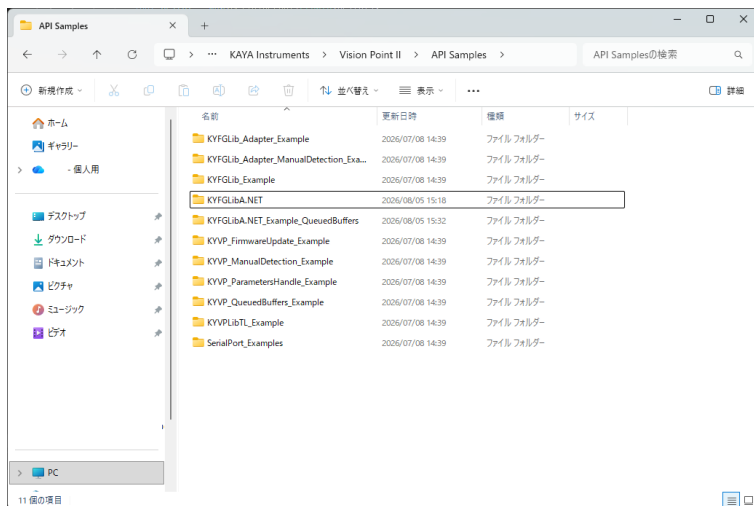
- ・ Vision Point II ソフトウェアパッケージ（SDK 含む）のインストール
<https://www.argocorp.com/software/DL/KAYA/>
- ・ C++ビルドツールの導入: C++で DLL のコンパイルには C++のビルド環境が必要です。事前に Visual Studio Installer を起動し、「C++ によるデスクトップ開発」ワークロードがインストールされていることを確認してください。



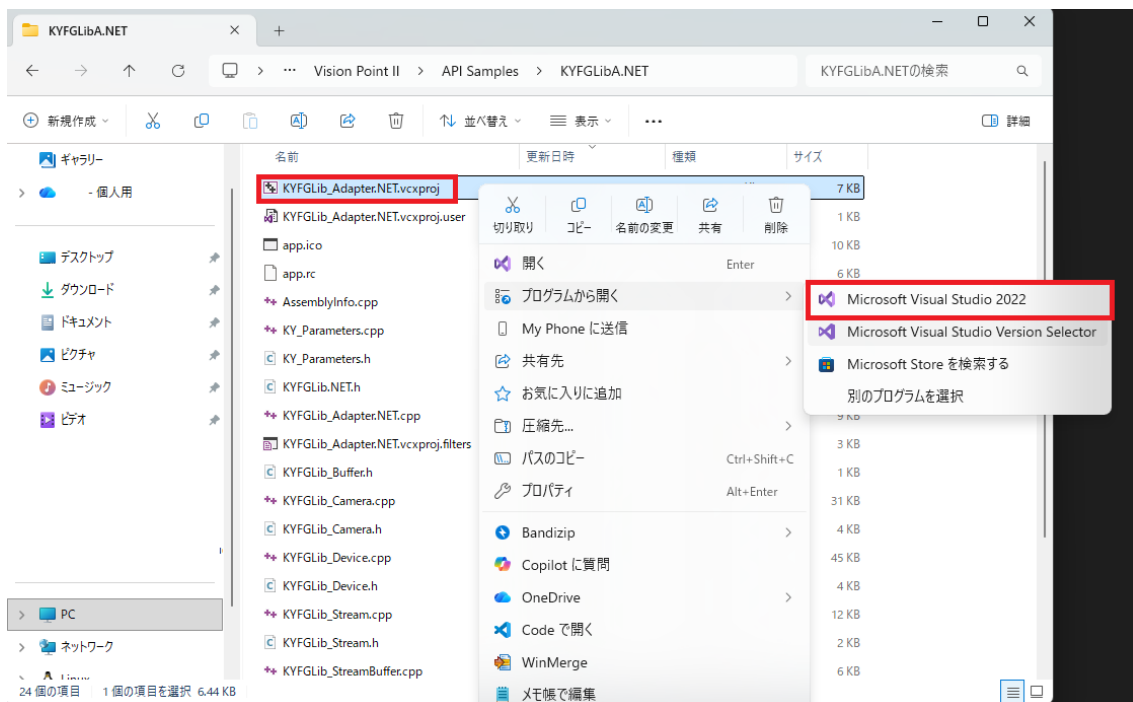
2. DLL の作成

Vision Point II のドライバをインストール後、以下のパスに移動し KYFGLibA.NET フォルダを選択します。

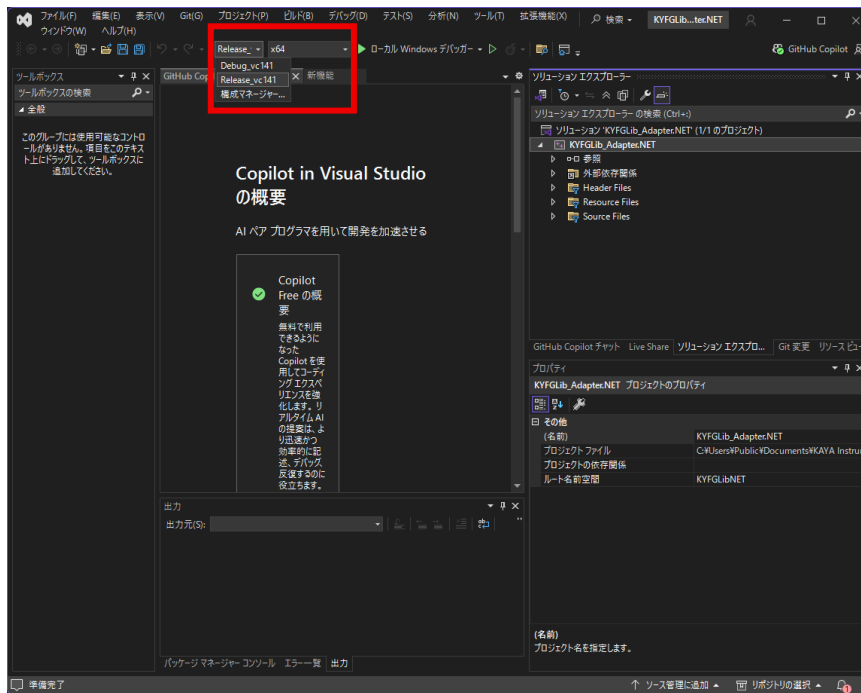
C:\Users\Public\Documents\KAYA Instruments\Vision Point II\API Samples



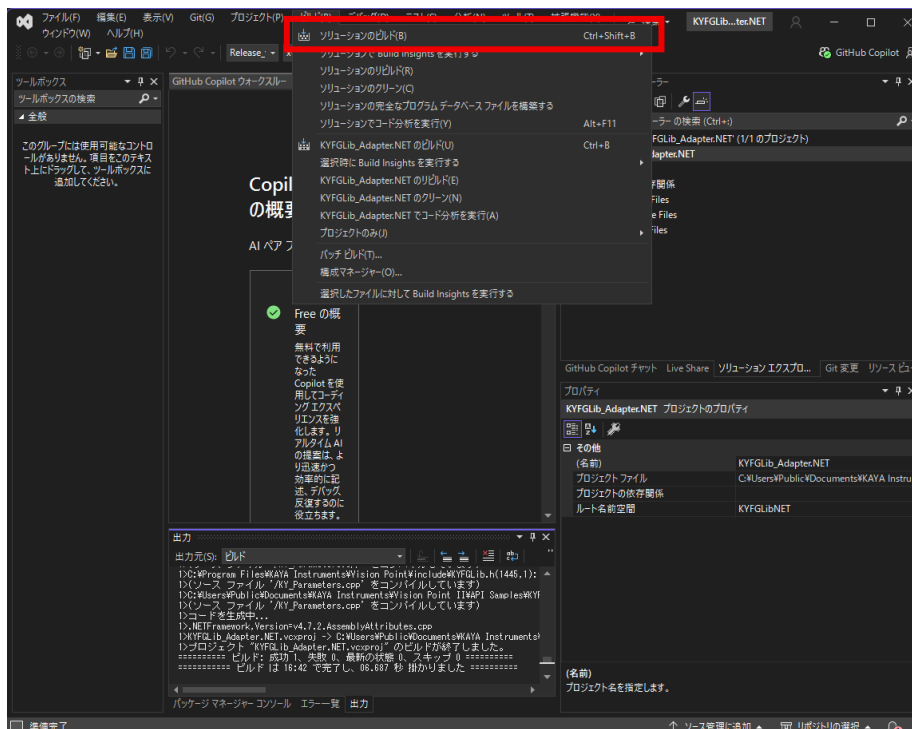
フォルダ内の KYFGLib_Adapter.NET.vcxproj を右クリックし、「プログラムから開く」から Microsoft Visual Studio を選択してプロジェクトを開きます。



Visual Studio が開いたら、上部ツールバーのソリューション構成を「Release」、ソリューションプラットフォームを「x64」に設定します。



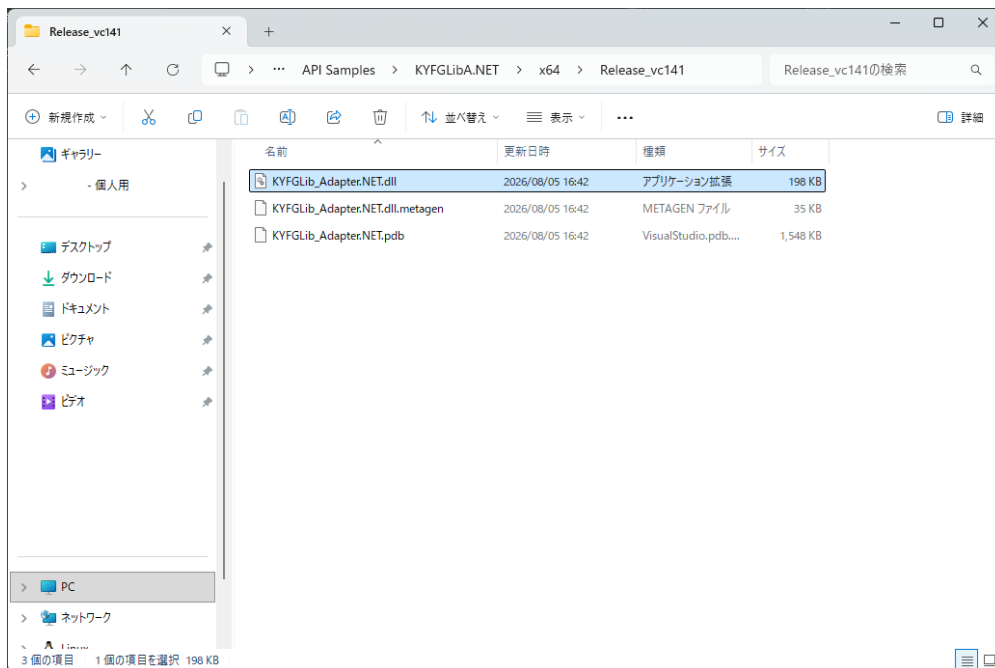
「ビルド」メニューから「ソリューションのビルド」を選択し、コンパイルを実行します。



ビルドが成功すると、下記のフォルダに VPII 移行用の DLL (KYFGLib_Adapter.NET.dll) が作成されます。

C:\Users\Public\Documents\KAYA Instruments\Vision Point II\API
Samples\KYFGLibA.NET\x64\Release_vc141\KYFGLib_Adapter.NET.dll

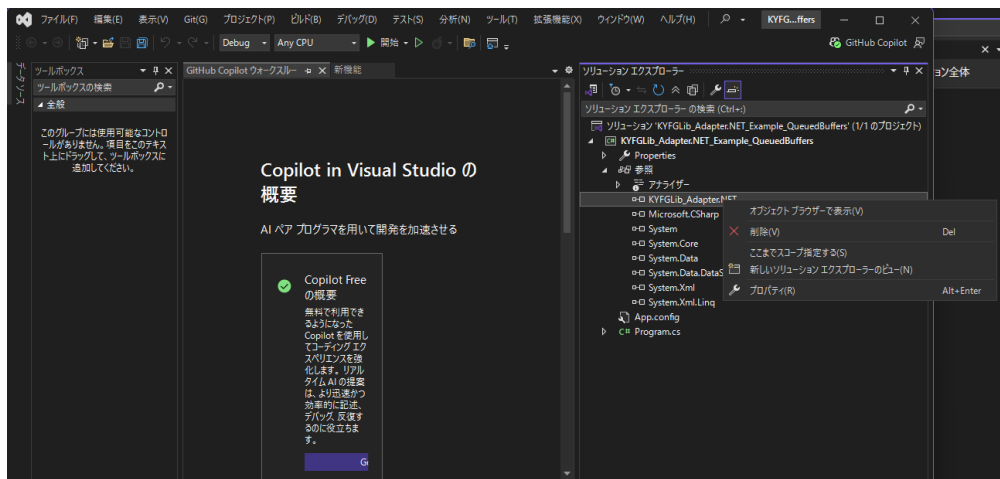
※ Release_vc141 のフォルダ名は、使用している Visual Studio のプラットフォームツールセット (バージョン) によって変わる場合があります。



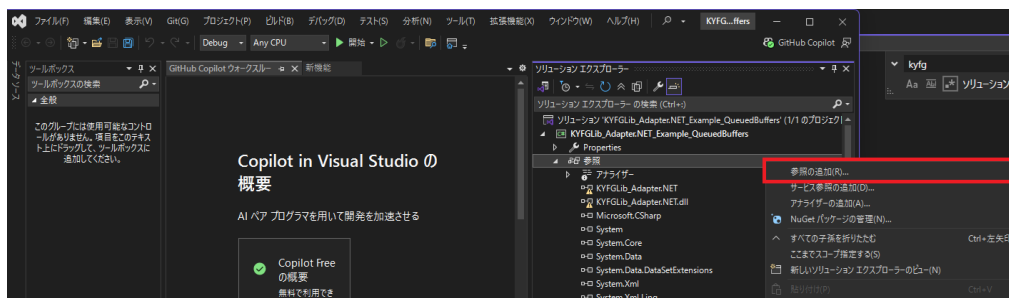
3. プロジェクトへの適用

Vision Point I のときに作成した C# のプログラム（ソリューション）を開きます。

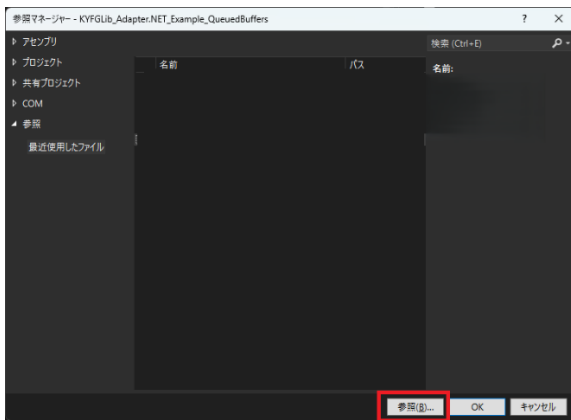
ソリューションエクスプローラーの「参照」を展開し、旧バージョンの DLL（KYFGLib.NET など）を右クリックして削除します。



新たにコンパイルした DLL を参照するため、「参照」を右クリックし、「参照の追加」を選択します。



参照マネージャーのダイアログ右下にある「参照(B)...」ボタンをクリックし、手順2で生成された KYFGLib_Adapter.NET.dll を指定して「OK」ボタンをクリックします。



プロジェクトに正常に追加されたら、プロパティ等でバージョンと参照先のフォルダが以前のバージョンから更新されていることを確認します。

